

**問** 市税条例附則第24条の追加について、新型コロナウイルス感染症特例法に規定する指定行事のうち市長が指定する行事とは。

**答** 対象となる行事は国に指定された行事。本市としては、愛知県と指定に向け方向性をそろえていく予定。

**問** 市民が新型コロナウイルス感染症等に係る寄附金税額控除の特例を受けるときの手続きは。

**答** 対象行事の主催者に寄附する旨を申請し、寄附金控除の証明書の交付を受け、確定申告をしてもらう。  
(6/15総務産業委員会)

**議案** No.75  
**プレミアム付商品券支援事業**

**問** プレミアム付商品券を購入できるのは、どのような人か。

**答** 田原市民を中心に販売するが、市外の方にも販売する方向で検討している。

**問** 利用店舗として登録できるのは商工会員だけか。

**答** 新型コロナウイルス感染症による影響を受けた事業所を対象としており、商工会員ではない店舗についても募集を行う。

**問** たはら暮らし応援商品券とプレミアム付商品券の区別の方法は。

**答** 利用者の誤解を招かない表記・デザイン等に工夫していく。

**問** 一過性の消費効果以外に期待するものは何か。

**答** 行ったことのない店舗での食事や宿泊で、地元の良さを再発見に。また、これを機に限定宿泊プランなど新たな事業展開で活性化も。

**問** 事業期間が6ヶ月では、短いのではないか。

**答** 事業主体の田原市商工会および渥美商工会が、早急に年内に使用してもらいたいとの考えで決めたもの。

**問** バスロケーションシステムの導入  
路線バスの運行状況を、スマホアプリ等で簡単に把握できるシステムとのことだが、導入の経緯は。

**答** 豊鉄バス(株)から関係市町に説明があり、協議検討の結果、広域で連携して公共交通を支援する必要があると判断したもの。

**問** 導入後に想定する効果は。

**答** 利用者は、バスの到着時間に合わせバス停に行くことが可能。また、多言語検索も可能となる。事業者は、運行履歴データを活用した運行改善に活用できる。

**問** ぐるりんバスへの導入は。

**答** 車両台数が少なく、システム構築費用の占める割合が非常に大きくなってしまったため、今のところは予定していない。

**問** 市内において、本システムによるデータ収集の必要はあるか。

**答** 渥美営業所でも、運行に関する問合せが一日10件ほどある。運行状況がリアルタイムで把握できることは、サービス面で意味があると思われる。



**小中学校に授業用タブレット端末の導入**

**問** 落下などでタブレット端末を壊してしまった場合の補償は。

**答** 1年目は破損、システム不具合全て補償対応。破損はリース期間中、年1回まで交換または無償修理。システムの不具合については、2年目以降実費対応となる。

**問** 画面保護の対策については。

**答** 画面保護の対策については、保護シートが1台あたり約2千円として、約1千万円の予算が必要となる。保護シートは付けずに、

子ども達に使い方を周知し、保護者にも説明しながら進める。  
(以上6/16予算決算委員会)

**議案** No.76  
**ひとり親世帯臨時特別給付金支給事業**

**問** 今後のスケジュールは。

**答** 6月末からホームページ等で周知し、申請不要のものは7月下旬から支給開始、申請が必要なものは来年2月末まで受付し、3月末までに支給終了の予定。

**問** 申請の受付窓口は。

**答** 市役所の子育て支援課で行う。追加給付の対象者は、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、収入が著しく減少した方。

**問** スクール・サポート・スタッフの配置

**答** 小中学校の校舎内の消毒作業などを行ってもらうとのことだが、業者に委託するのか。

**問** 地域の方に協力をお願いしながら、人材確保に努めていく。

**答** どのように予算計上したのか。各校3名、全23校で計69名、時給千円で、期間を本年度末までの175日間として算定した。  
(6/22予算決算委員会)